

介護をがんばりすぎていませんか？ ひとりで悩んでいませんか？

介護をしている家族などが、さまざまな理由により心身ともに疲労し、追いつめられ、自覚のないままに虐待をしてしまっていることも少なくありません。
高齢者虐待は、誰にでも起こりうる身近な問題です。
誰もが安心して地域で暮らしていけるよう、高齢者虐待をみんなで防ぎましょう。



虐待が引き起こされる背景

介護の負担を抱え込んでいませんか？

介護をしている方が長年の介護に疲れきって、追いつめられて虐待が発生してしまうことがあります。
また、介護に一生懸命取り組むあまり、怒鳴ったり、手を上げてしまうことも少なくありません。
そして、これまでの人間関係や経済的な困窮、相談相手が身近にいないなどさまざまな問題があり、複雑な事情を抱えていることもあります。
周囲の人が声をかけ、相談相手になるなど、虐待をしている人を加害者と決めつけず、支援する方法を考える事が大切です。

気づかずに虐待をしてしまうことも

家族には「虐待をしている」という自覚がない場合が多く、高齢者のためにと考えてやっていることが、虐待につながることもあります。また、高齢者自身も虐待を自覚していない場合があります。
自覚の有無にかかわらず、高齢者への不適切な対応は虐待です。

経済的虐待

- 日常生活に必要な金銭を渡さない、使わせない
- 年金や預貯金を無断で使用するなど

身体的虐待

- 殴る、蹴る、叩く
- ベッドにしぼりつけるなど

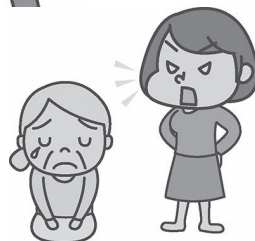
介護・世話の放棄・放任

- 入浴させないため異臭がする
- 必要な医療や介護サービスの利用を制限するなど



性的虐待

- 排泄の失敗に対して懲罰的に下半身を裸にして放置する
- キス・性器への接触を強要するなど



心理的虐待

- 排泄の失敗を嘲笑する
- 家族や親族、友人等の団らんから排除するなど

【お近くの相談機関にご相談ください】

市高齢者福祉課 ☎ 31-0245

益田市東部・中部地域包括支援センター ☎ 31-1010

益田市西部地域包括支援センター ☎ 22-2028

益田市美都地域包括支援センター ☎ 52-3335

益田市匹見地域包括支援センター ☎ 56-0539